

臨床現場でのサポート体制

① プリセプター制度の導入

指導・教育・相談窓口として担当看護師を配置します。

② 技術チェックリストを用いた看護技術の指導

習得している技術とそうでない技術を明確にして指導を行います。また、OJT や研修参加につなげます。

入職時に技術チェックリストを記入後、師長面接で指導計画を検討します。

③ 入職1週間は、終業前に自己学習の時間を確保

④ 入職当初は、ペアで行動

まずは現場の雰囲気慣れること重視しています。「焦らずにゆっくりと」が合言葉！

⑤ 夜勤開始時期も基準に照らし合わせ検討

夜勤開始の基準

- ・健康上問題がない
- ・社会人基礎力に明らかな問題がない
- ・職場に適応している
- ・報連相ができる
- ・感染・安全が理解できる
- ・電カル操作が一通りできる
- ・技術の確認（点滴・吸引・血糖測定・採血・静脈注射など）

⑥ eラーニングを個々に合わせて選定し受講をサポート

eラーニング内の講義を入職後の課題に合わせて選定しタイムリーな学習のサポートを行います。

⑦ 必要時新人研修に参加可能、または、ラダーレベルに応じた研修参加

師長面談で課題を明確にして必要な研修への参加を検討します。

⑧ 中途採用看護師に対し師長が定期的な面接でキャリアサポート

面接は、1カ月・3カ月・6カ月・1年に実施。必要に応じて師長の判断で随時実施します。

⑨ 師長面談によるメンタルサポート

人間関係作りの状況確認、ストレスをためないようにサポートします。

必要時 産業医面談もできます。